

楽しかった冬のイベント

～2008カルルス温泉冬まつり～

3月2日(日)、カルルス温泉サンライバスキー場で『2008カルルス温泉冬まつり』（同まつり実行委員会主催）が行われ、残り少ない冬の一日を楽しもうと多くの家族連れなどがつめかけました。

この日は、雪が降ったりやんだりする中、恒例となっている『雪中みかん拾い』や『親子ボブスレー大会』『ストライクワン』『ホールインワン』『オロフレ雪原宝探し』『雪上もちまき』の雪と親しむ催しが行われたほか、『登別市長杯・和歌賞少年スキー大会』『無料スキー・スノーボード講習会』『歩くスキーの集い』が行われました。

『オロフレ雪原宝探し』では、主催者の「特賞『カルルス温泉宿泊券』（2本）が当たる赤いボールは木の根元の雪を1センチくらい掘るとありますよ」とのヒントに、子どもから大人までが一斉に木の根元を一生懸命掘っていました。

会場は、たくさんの催しに参加して景品をもらって喜んでいる子どもたちの笑顔であふれていました。



▲親子ボブスレー大会

▲ストライクワン

マイバックでお買い物

～マイバック作り講習会～



2月25日(日)、若草つどいセンターで『マイバック作り講習会』（登別市衛生団体連合会主催）が行われ、10人が参加しました。

この講習会は、買い物の際に『マイバック』（買い物袋）を持参して、レジ袋を辞退しごみの減量や石油資源の節約、二酸化炭素削減につなげようで行われたもので、登別消費者協会の会員4人が講師となり、クリニックセンターで集めた壊れた傘の布地を利用して行われました。

参加者は、「エコにもつながりますし、傘を再利用するのが素晴らしいですね」と話してくれました。

ごみの減量化や省資源、環境負荷の軽減のため、お買い物にはマイバックを持参しましょう。

登別漁港の魅力を発信

～北海道一周「浜の味」ミニフェスティバル2008～

2月21日(木)から26日(火)まで、札幌市内の百貨店で『北海道一周「浜の味」ミニフェスティバル2008』が開催されました。

この催しは、より多くの方に北海道の安全・安心でおいしい水産物や地域マリンビジョンの取り組みを知ってもらおうと北海道開発局の呼び掛けにより開催されたもので、地域マリンビジョンを策定している地域の漁業協同組合や観光協会など14団体が参加しました。

登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョンを策定し、その中核となっているいぶり中央漁業協同組合は、2月25・26日の2日間、北海道第2位の水揚げを誇るホッキ貝350キログラム（1,400個）を販売し、登別漁港で水揚げされた水産物の魅力を提供しました。

地域マリンビジョンとは、北海道の水産業を守り育てていくための構想として北海道開発局が掲げた『北海道マリンビジョン21』に基づき、各地域が水産業や漁港を核とした目指すべきまちづくりを示したものです。

